

アートを身近に

シティプロモーション係 / 4階
☎(3228)5467 FAX(3228)5645

今年3月、新たに区内2か所に壁画(ミュール)が完成。いずれも中野通り沿いにあり、日常の中でアートを目にする事ができます。
今号では、その特徴や見どころを紹介します。



中野駅東西連絡通路

地域の関係者も一緒に壁画のデザインを考えるワークショップを実施。アーティストの原画案を元に、デザインに関するコメントや中野のまちの情報共有を図り制作しました。

カサ デ オリーバ (就労継続支援B型事業所・カフェ)

20世紀後半以降のポップカルチャーを想起させるような生き生きとしたラインや鮮やかな色合いが、大きく広く躍動する作品です。アーティストは高橋鉄平さん。

過去の積み重ねが未来につながります。ワークショップやフィールドワーク、文献・資料などを通して中野の歴史や文化を徹底的にリサーチ。それらを踏まえ、更に進化していく未来の中野を表現しました。

いくつか見つけられるかな / 中野の“これまで”と“これから”

絵の中には、さまざまな時代の中野の風景・モチーフがちりばめられています。江戸時代の名所や昭和の名店、未来の建物。「懐かしい」「これ知ってる」など実際に見て語り合ってみませんか。



アーティスト 丸倫徳さん

華やかなミュールが通り掛かった方の目に留まり「何だろうな」と思ってもらうことで、施設に興味を持っていただけたらうれしいです。地域の方との交流のきっかけになればと願っています。



カサ デ オリーバ理事長 村松さん



完成した壁画にサインを入れる高橋さん



◀町会の方も参加したワークショップの様子



窓にもシートを貼り一体的な仕上がりに

アクセス

所在地 本町5-35-9

カサ デ オリーバとは
主に精神障害のある方のための訓練施設。カフェも併設しています。

営業時間 平日午前11時～午後4時30分(ラストオーダー4時)

問合せ ☎(5340)8898

中野ミュールプロジェクトとは

日常の中で鑑賞できる壁画をまちに広げるプロジェクト。「つながるアート」「語るアート」をテーマに、未来への途上にある未完全なまちの姿と、そこで紡がれる物語を壁に描きます。

2021年度は2か所に先行制作



鷺宮小学校体育館
開校140周年記念の一環でアーティストの小田佑二さんと同校の児童が制作(一般には非公開)



中野駅北口駅前広場
アーティストは「WHOLE9」。新たなフオトスポットとしても人気です

着々と進行中 新ミュール

帽子店のMOCO POCO(中野3-35-5)、鍋横区民活動センター(本町5-47-13)、更に1か所壁画を選定し、今年度は計3か所の壁に描きます。



▲詳しくは区HPへ